

中津市福祉の里づくりサポーター事業 アンケート結果について

平素から「中津市福祉の里づくりサポーター事業」に格別のご理解ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本事業は平成 24 年 10 月開始から 3 年が経過し、サポーターの登録人数も 655 名（平成 28 年 2 月末現在）になっています。今後の事業内容の充実及び発展を図るため、アンケートを実施いたしました。336 名の方からご回答いただいた内容を集計しましたので、公開いたします。

サポーターの皆さま、アンケートへのご協力ありがとうございました！

アンケート結果は、こちらから。



《平成27年度中津市福祉の里づくりサポーター事業アンケート結果一覧（サポーター）》

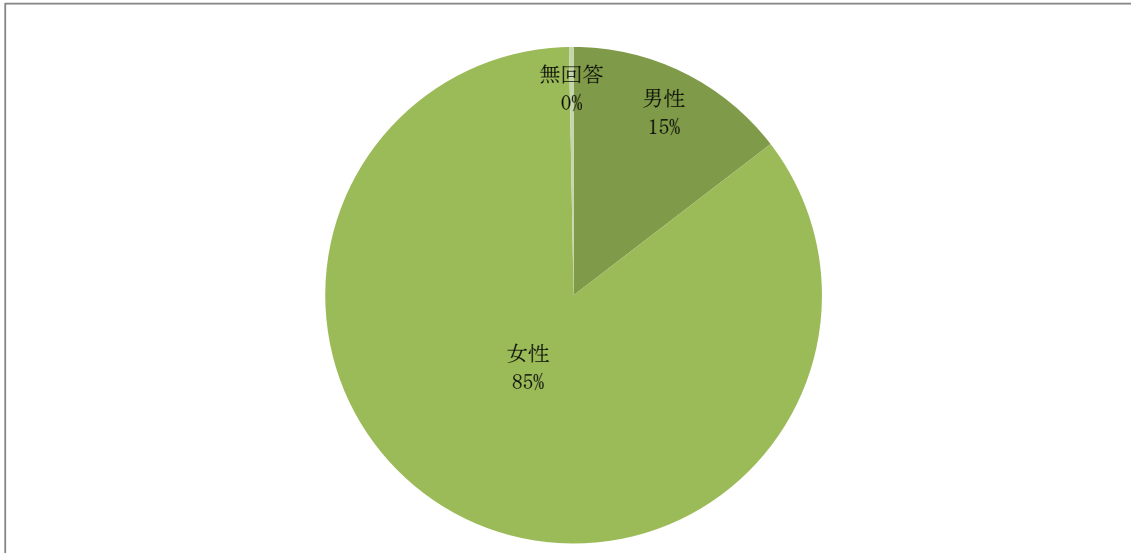
○アンケート配布数及び回収率

配布数	609 人
回答数	336 人
回答率	55 %

問1. あなたの性別は？

男性	49 人
女性	286 人
無回答	1 人

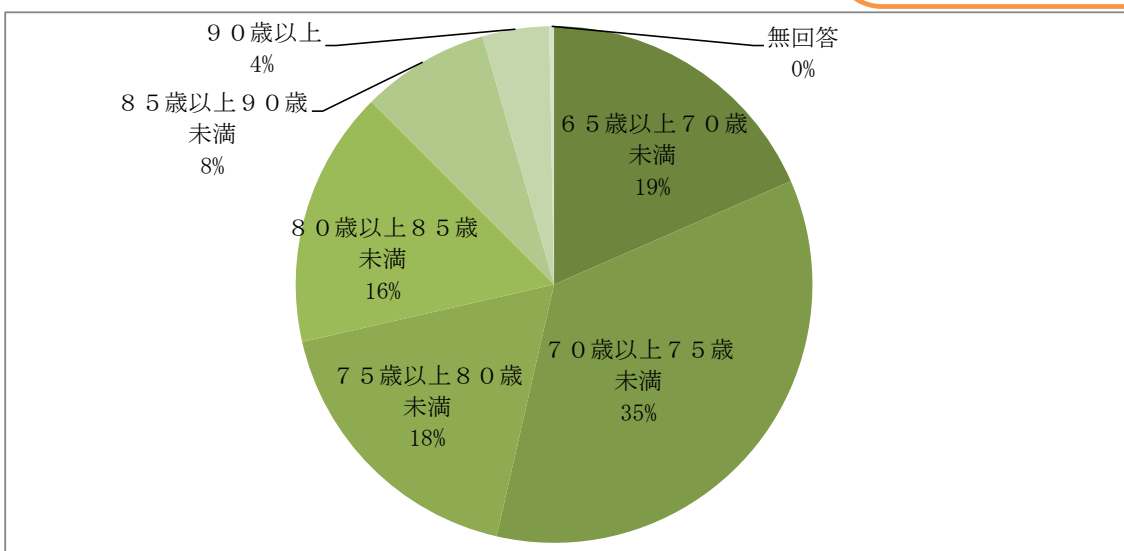
女性が85%を占めています。



問2. あなたの年齢は？

65歳以上70歳未満	62 人
70歳以上75歳未満	118 人
75歳以上80歳未満	60 人
80歳以上85歳未満	54 人
85歳以上90歳未満	27 人
90歳以上	14 人
無回答	1 人

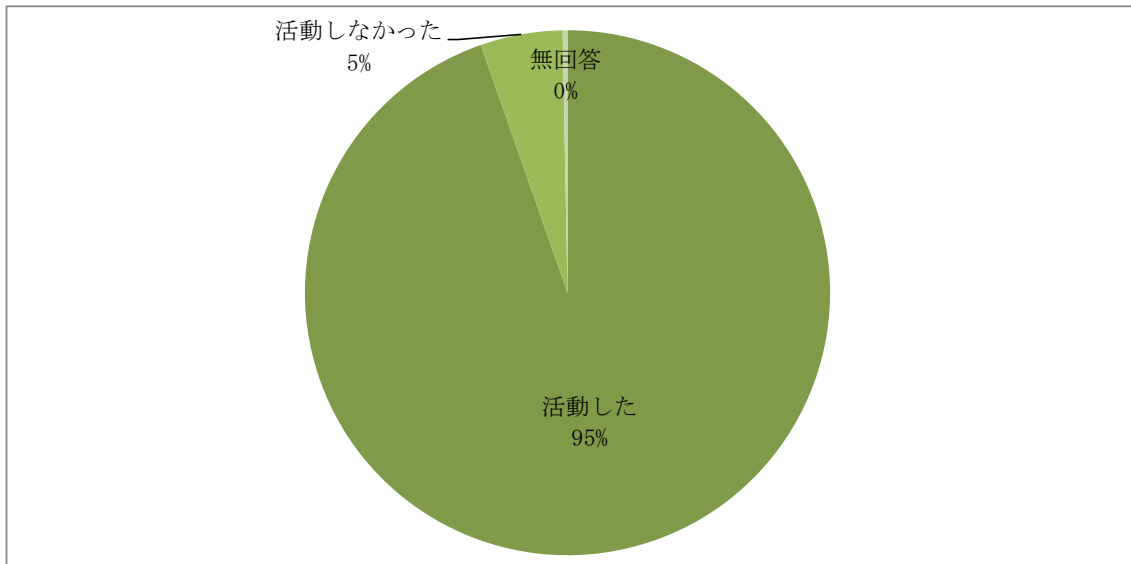
70歳以上75歳未満が最も多く35%を占めています。次いで65歳以上70歳未満と75歳以上80歳未満がほぼ同数です。90歳以上になっても活動している方が14人いらっしゃいます。



問3. 今年度は1回以上サポーター活動をされましたか？

活動した	318 人
活動しなかった	17 人
無回答	1 人

95%の方が1回以上活動を行っています。

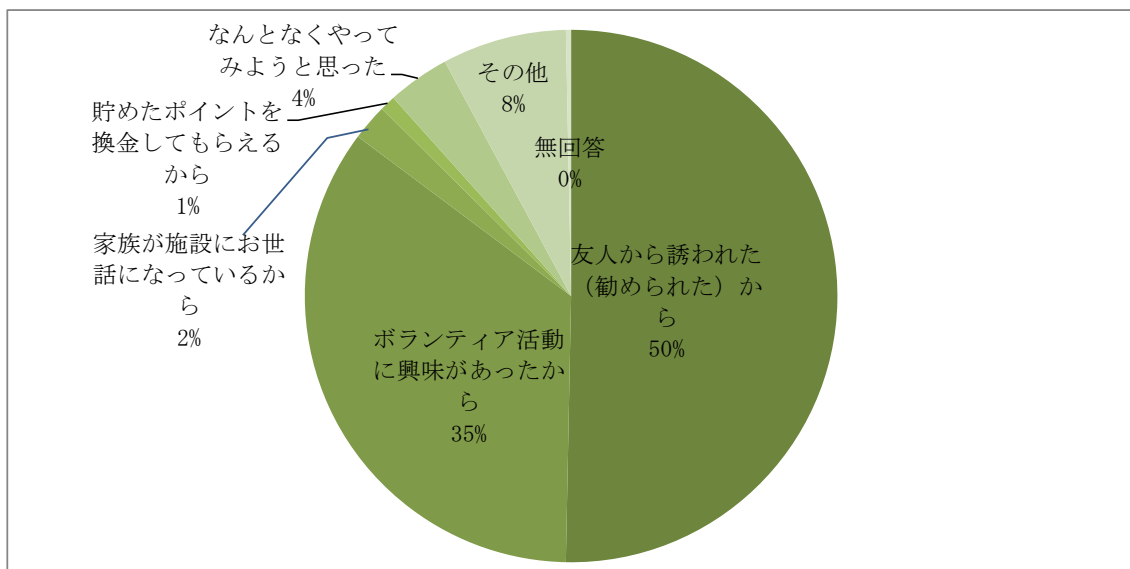


※問4～10は、問3にて【1.活動した】と回答した方のみ回答している。

問4. 活動をしたきっかけは？

友人から誘われた（勧められた）から	160 人
ボランティア活動に興味があったから	111 人
家族が施設にお世話になっているから	7 人
貯めたポイントを換金してもらえから	3 人
なんとなくやってみようと思った	12 人
その他	24 人
無回答	1 人

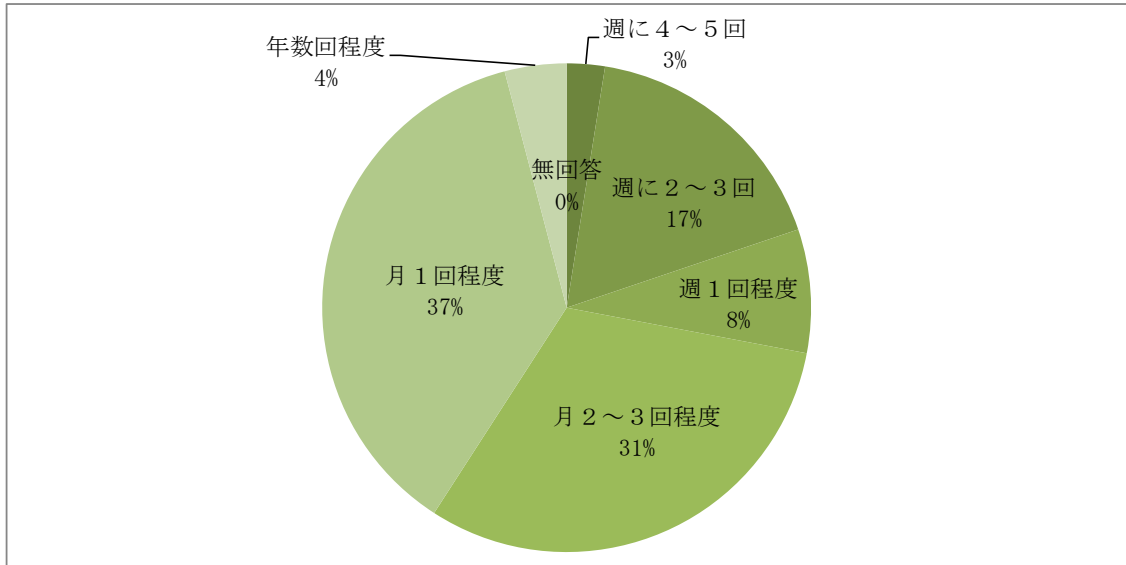
友人から誘われた方がほぼ半分で、次いでボランティア活動に興味があった方が35%を占めています。



問5. 活動はどの程度行っていましたか？

週に4～5回	8人
週に2～3回	55人
週1回程度	26人
月2～3回程度	99人
月1回程度	117人
年数回程度	13人
無回答	0人

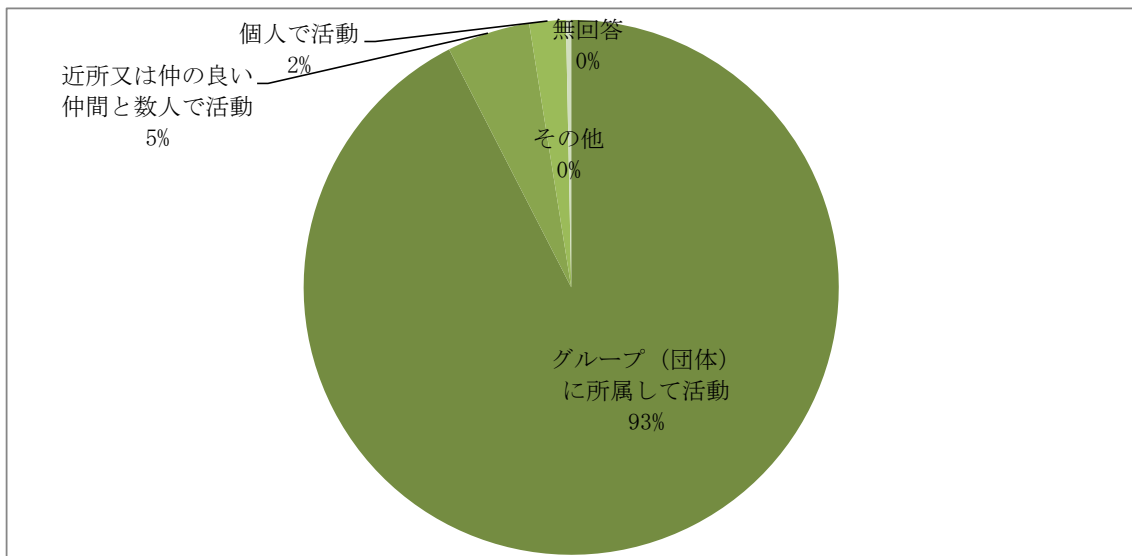
活動ペースは月1回程度の方が37%と最も多く、次いで31%の方が月2回～3回程度活動しています。



問6. 活動はどのような形で行ってましたか？

グループ（団体）に所属して活動	294人
近所又は仲の良い仲間と数人で活動	16人
個人で活動	7人
その他	0人
無回答	1人

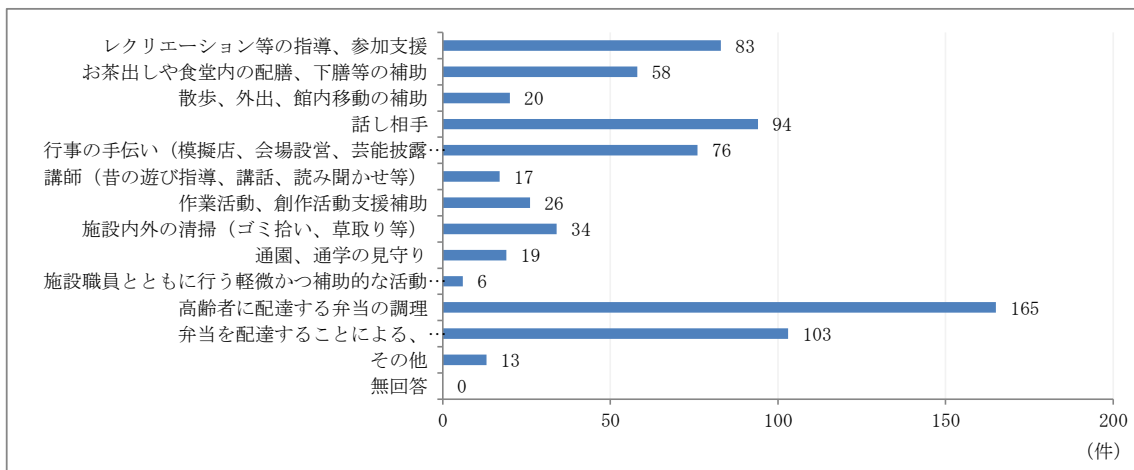
93%の方がグループに所属して活動しています。



問7. 具体的にどのような活動を行いましたか？ ※複数回答可

レクリエーション等の指導、参加支援	83 件
お茶出しや食堂内の配膳、下膳等の補助	58 件
散歩、外出、館内移動の補助	20 件
話し相手	94 件
行事の手伝い（模擬店、会場設営、芸能披露	76 件
講師（昔の遊び指導、講話、読み聞かせ等）	17 件
作業活動、創作活動支援補助	26 件
施設内外の清掃（ゴミ拾い、草取り等）	34 件
通園、通学の見守り	19 件
施設職員とともに行う軽微かつ補助的な活動 （洗濯物の整理、シーツの交換等）	6 件
高齢者に配達する弁当の調理	165 件
弁当を配達することによる、 高齢者の見守・安否確認・話し相手	103 件
その他	13 件
無回答	0 件

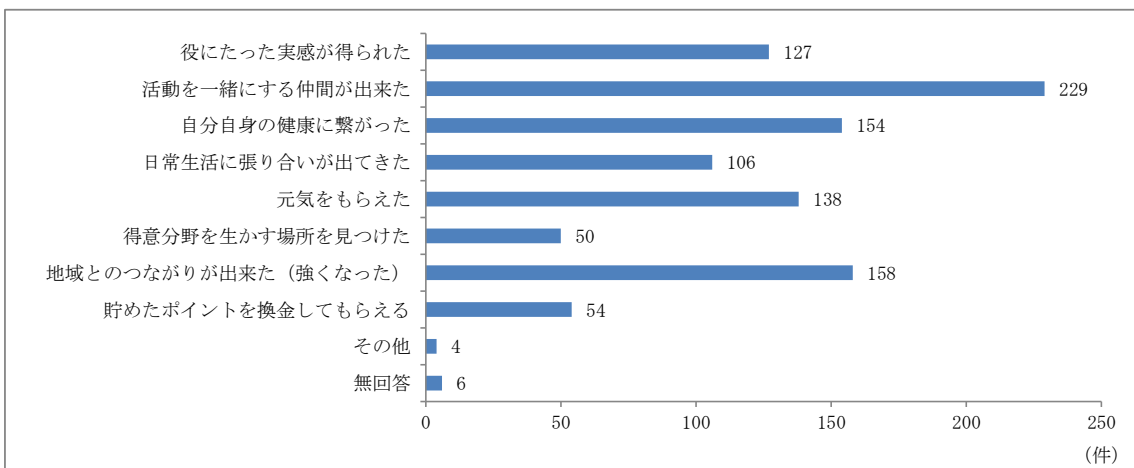
給食ボランティアでの弁当の調理や配達活動に最も人気が集まっています。



問8. 活動をしてよかったことは？ ※複数回答可

役にたった実感が得られた	127 件
活動を一緒にする仲間が出来た	229 件
自分自身の健康に繋がった	154 件
日常生活に張り合いが出てきた	106 件
元気をもらえた	138 件
得意分野を生かす場所を見つけた	50 件
地域とのつながりが出来た（強くなった）	158 件
貯めたポイントを換金してもらえる	54 件
その他	4 件
無回答	6 件

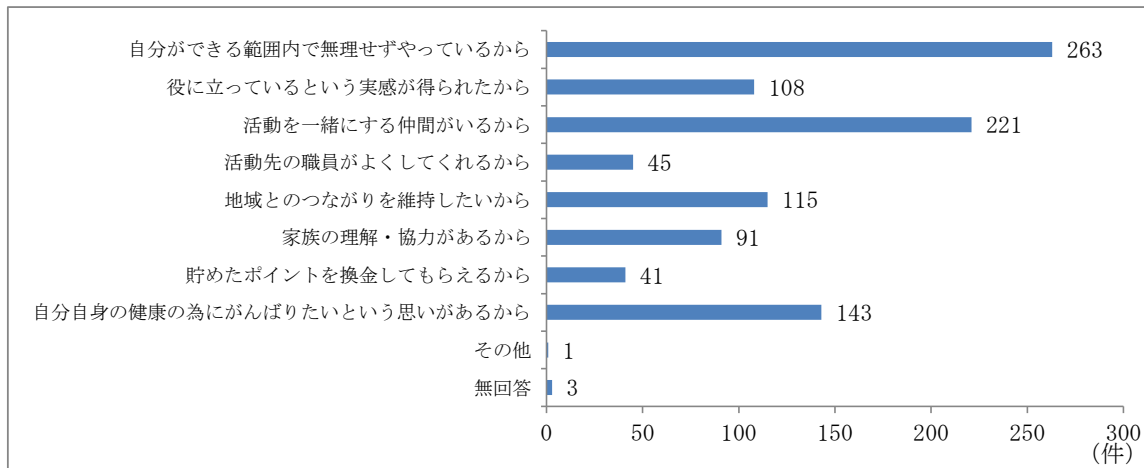
サポーター活動を行うことで仲間ができた方が多く、社会参加の一助になっています。



問9. 活動を続けられているのは何故ですか？ ※複数回答可

自分ができる範囲内で無理せずやっているから	263 件
役に立っているという実感が得られたから	108 件
活動を一緒にする仲間がいるから	221 件
活動先の職員がよくしてくれるから	45 件
地域とのつながりを維持したいから	115 件
家族の理解・協力があるから	91 件
貯めたポイントを換金してもらえるから	41 件
自分自身の健康の為にがんばりたいという思いがあるから	143 件
その他	1 件
無回答	3 件

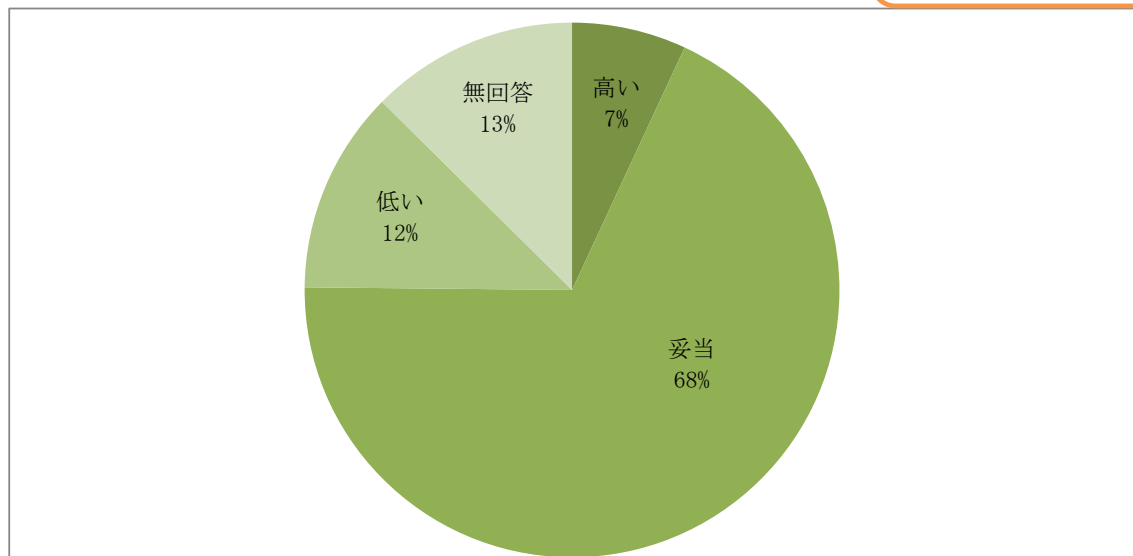
活動を続けるコツは、活動する仲間と一緒に、自分ができる範囲で無理せずに活動することのようです。



問10. 評価ポイントの転換上限額（現在5000円）についてどう思いますか？

高い	22 人
妥当	217 人
低い	39 人
無回答	40 人

評価ポイントの上限は68%の方から妥当と判断されています。

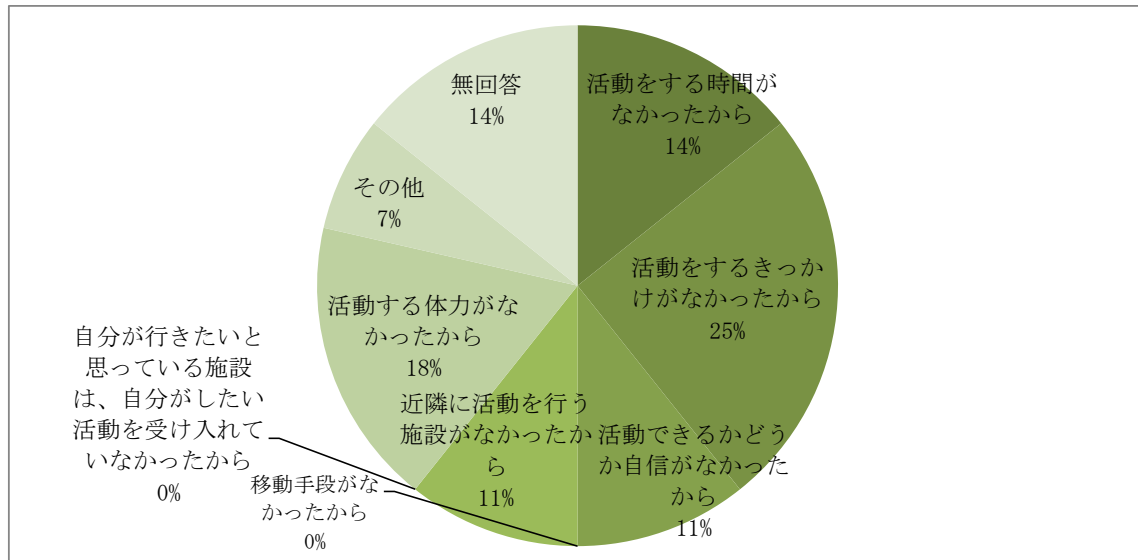


※問11～12は、問3にて【2.活動しなかった】と回答した方のみ回答している。

問11. 活動しなかった理由は？

活動をする時間がなかったから	4人
活動をするきっかけがなかったから	7人
活動できるかどうか自信がなかったから	3人
移動手段がなかったから	0人
近隣に活動を行う施設がなかったから	3人
自分が行きたいと思っている施設は、自分が行きたい活動を受け入れていなかったから	0人
活動する体力がなかったから	5人
その他	2人
無回答	4人

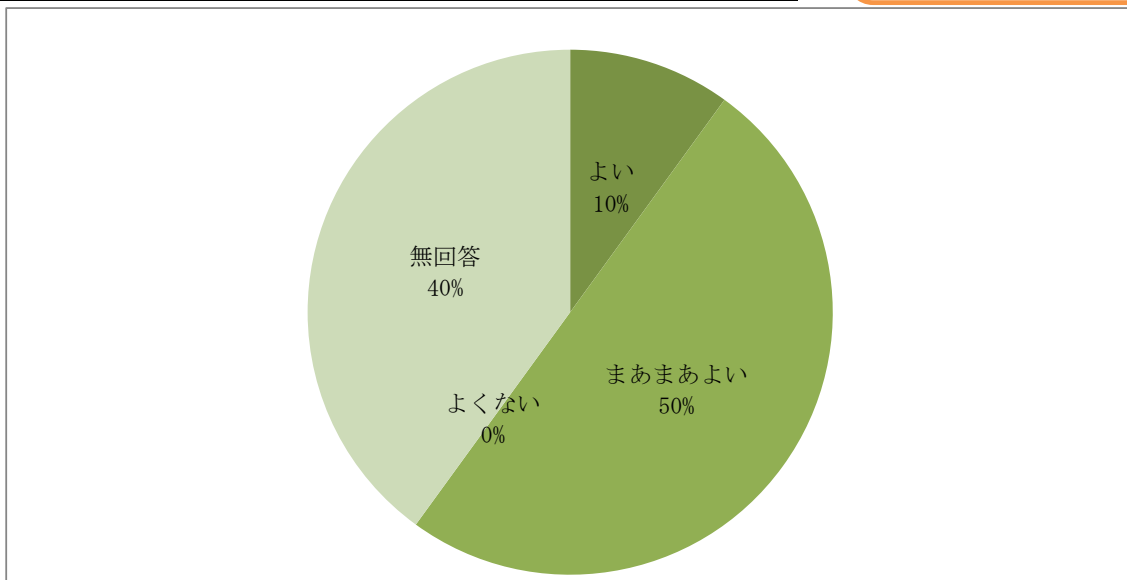
サポーター登録を行ったが活動するきっかけがつかめず、活動につながらなかったようです。



問12. 評価ポイントの換金についてどう思いますか？

よい	2人
まあまあよい	10人
よくない	0人
無回答	8人

評価ポイントの換金については60%の方がよい・まあまあよいと思っています。



※問13～14は、対象者全員に回答をお願いした。

問13. サポーター活動に関して、得意な活動、やってみたい活動があれば、ご記入ください。

調理（和食や菓子など）、裁縫・手芸、話し相手、歌、踊り、折り紙、手遊び、家庭菜園の手伝い、草取り、「子どものおもちゃ」修理、絵描き補助、詩吟、琴、買い物支援、外出援助、掃除、紙芝居

問14. サポーター事業に関してご意見・ご要望などございましたら、ご記入ください。

【意見】

- ・換金制度はなくてもよい（欲しいのは心）
- ・評価ポイント制度は活動の励みになる
- ・若い方の活動参加を望む
- ・サポーター事業が始まる以前のやり方がよい
- ・あくまでボランティアとして活動しているので無償でよい
- ・サポーター加入に対して、押しつけや無理な勧誘は控えるべき
- ・「ボランティア」という言葉に行政は甘えすぎている
- ・サポーター事業を知らない人が多い
- ・年齢制限（対象年齢）の理由が分からない
- ・調理は重労働のため参加人数が減りつつある

【感想】

- ・高齢者が明るく笑う姿を見て「やっていて良かった」と感じた
- ・活動を通して生きがいを感じている
- ・人の役に立てればと考えて活動している
- ・サロンで楽しく参加させてもらい、元気や楽しさを貰っている
- ・「ありがとう」などの一言が励みになる
- ・仲良く楽しく地域ぐるみで助け合い横のつながりを深め、地域に役立てたい
- ・お金を多少でも貰えるのは嬉しい
- ・活動を通して高齢者の知恵を貰える機会となっている
- ・地域に友達がいないので、自分から活動に参加する自信がない

【要望】

- ・1日に付与できるスタンプを引き上げてほしい。
- ・小中学校での活動や他団体への支援を評価ポイントの対象にしてほしい
- ・個人活動をしているが、サポーター同士の紹介をしてほしい
- ・2号被保険者（40～65歳未満）も対象者に入れるべき
- ・換金は、個人ではなく団体（グループ）への活動費へまわしてほしい
- ・評価ポイントをお金をもらうより、その分介護保険料を安くしてほしい
- ・ボランティアに評価があるのはおかしい
- ・実情を把握してお金を有効活用してほしい
- ・サポーター制度発足で男性がどのくらい増えたのか
- ・この制度の収支報告書はどこで確認できるのか
- ・活動目的は達成されているのか知りたい
- ・サポーター事業を継続してほしい
- ・わずかなお金を支給して何を求めているのか分からない
- ・介護保険のしわ寄せが地域や家庭に戻ってくるのではないのか

【その他】

- ・高齢者への弁当は月1回なので役立っているかどうか疑問である
- ・車に乗れないので、活動場所が近場に限定されている
- ・規則正しい生活の為に、一日2時間は活動している
- ・子どもを対象とした活動の場合は、周到的な準備や空白の時間をつくらないようにすべきである
- ・給食弁当の配達時、利用者が不在では困る
- ・少人数で調理や配膳するのは大変なので、サロン参加者や役員の方にも協力してほしい